

平成16年7月16日

〒460-0012
名古屋市中区千代田2-24-15
北川工業株式会社
取締役社長 北川 弘二 様
共願先：学校法人トヨタ学園 様

〒460-0003 名古屋市中区錦二丁目9番27号
名古屋維ビル

足立国際特許事務所
弁理士 足立 勉

Tel:052-203-1001 Fax:052-231-0515
Email:daihyo@patent.gr.jp
(担当 小林 伸雄)



期限注意
要回答

拒絶査定のお知らせ（特）

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて貴殿より御委任を頂きました下記の出願につき、今般特許庁より別紙のような拒絶査定謄本が送付されました。本件につきましては極力努力致しましたが、御期待に添い得ず恐縮に存じます。

尚、本拒絶査定について不服のござります場合は、下記の応答期限迄に拒絶査定に対する審判を請求する事ができますが、審判には年月と費用を要します。そこで本件の重要性を御考慮の上もし審判の請求を御希望される場合には、下記期限内にお知らせ下さるようお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 出願種別	特許
2. 出願番号	特願 2000-134787
3. 包袋番号	貴社Na# 2136 当所Na P I 335 K I T
弊所担当 小林 伸雄	
4. 拒絶査定	平成16年7月13日
応答期限	平成16年8月12日
5. 名 称	光ファイバの製造方法
6. 添付書類	(1) 拒絶査定謄本 1通
7. 備 考	

(●) 弊方コメントは追って送付します。
() 本願は意見書の提出を断念したものです。
() 審判請求は困難です。
() 貴社よりのご連絡をお待ちしております。

整理番号:PI335KIT 発送番号:254258 発送日:平成16年 7月13日 1

拒絶査定

3/4

特許出願の番号	特願2000-134787
起案日	平成16年 7月 8日
特許庁審査官	板谷 一弘 8821 4T00
発明の名称	光ファイバの製造方法
特許出願人	北川工業株式会社 (外 1名)
代理人	足立 勉 (外 1名)

この出願については、平成16年 4月16日付け拒絶理由通知書に記載した理由2によって、拒絶をすべきものである。

なお、意見書及び手続補正書の内容を検討したが、拒絶理由を覆すに足りる根拠が見いだせない。

備考

請求項2に関し、出願人は、平成16年6月21日付け意見書中で「引用文献1の発明はバッファコーティングしないことが前提ですから、「前記バッファコーティングに先立って加熱」することは想定外であり、引用文献の記載に基づいたのでは「前記バッファコーティングに先立って加熱」することを想到するのは容易ではありません」と主張する。

しかしながら、一般に光ファイバ素線の保護層としてのバッファ層をコーティングすることは当技術分野における常套手段であり（要すれば、特開平7-61833号公報、特開平5-186239号公報、特開平5-181044号公報参照のこと。）、引用文献1に記載された技術に対して、最終工程としてバッファコーティングする工程を設けることが排除されなければならない合理的な理由もないから、最終工程としてバッファコーティングする工程を設けることを想到することが当業者がなすに格別困難なことであるとはいえない。すなわち、バッファコーティングに先立って加熱することにより積極的に導入した構造欠陥を取り除いた後に、バッファコーティングする工程を付加することは当業者が容易に想到しうるところである。

そして、請求項2の構成を採用したことによる紫外線耐性の向上という効果は当業者の予測し得る範囲のものである。

08/12/2004 14:58 FAX 603 624 9229
04 08/05 13:38 FAX 052 231 0515

DAVIS & BUJOLD, PLLC
足立特許 ADACHI PAT. → DB

005/005
004/004

整理番号:PI335KIT 発送番号:254258 発送日:平成16年 7月13日

2/E

4/4

上記はファイルに記録されている事項と相違ないことを認証する。
認証日 平成16年 7月 9日 経済産業事務官 高瀬 滑士